



新しいごみ処理施設は地元納得の安心安全な施設を

ごみ減量化にこそ市民総ぐるみで取組もう！

市民対話集会(5/14 西山

口・東山口・日坂・東山地区区民  
対象)の傍聴をしました。200

名程の参加があり、ごみ処理問題  
への関心の高さを感じました。

最後に発言された満水地区の方  
には拍手が起りました。

「どこか別のところに持っていく  
話はない。(受け入れる)地元とし

ては安心、安全でなくては困る。産  
廃の受入は認められない。自分た

ちも古紙回収、剪定枝コンテナ設  
置、コンポスト配布と、ごみの減

量に努力を重ねてきた。240ト  
もの炉を作る必要はない。ごみの量

を減らしてもっと小さい炉にすれ  
ばよい。若者も納得する計画に。」

「ゴミ排出量日本一の掛川市にふ  
さわしい計画としていく。満水以外

考えていないので、安全安心、納得  
できるものにする。市民説明も行な

っていていく。」と市も回答しました。

◎第3回検討委員会◎

6/4(土)13時30分

環境資源ギャラリー

(公開 傍聴には人数制限あり)

ライブ配信・録画配信あり



地区の皆さんから様々な意見が

水道・ごみ・焼き場くらいは立  
地自治体の責任で

民間活力の最大利用が最初にあ  
って、産廃を入れた大型炉の計

画になったのではないのか

一連の流れの中で、地元意見の  
聞き方がずさんである

ネット上だけでなく様々な形  
での市民への公開を

大きい事業は市民全体に説明  
をするべき

産廃の風評被害も心配  
財政上もていねいに検討をして

ほしい  
もっともな意見が次々に出まし

た。一旦立ち止まり、公開の対話  
集会や検討委員会で再検討を行な

う市の姿勢を評価すると共に、市  
民の皆さんと共に、学習、調査を

進め、今後も意見反映をしていき  
ます。市が市民の意見を最大限い

かしつつ、イニシアチブをとって  
気候変動やごみの減量化などの環

境政策に取組む姿勢を見せてくれ  
ることを望みます。

市民対話集会の録画が視  
聴できます。(近日中公開)



御前崎市が勝手に原発再稼働を要望

浜岡原発がとまって丸一年。4市(100km圏内)対策協議会

再稼働に対しての同意が御前  
も無視し、「御前崎だけで再稼

働は決める」と考えるおごりを  
自治体の首長は御前崎市と川根

本町だけ。掛川市も含め多くの  
項を含む協定を結んだ茨城県東

自治体が、広域避難計画の策定  
を義務づけられたUPZ(半径

30km)圏内自治体合意が必要  
直しを妨害してきました。

と考えています。  
福島事故でも立地自治体以上

そんな中で御前崎市が、市長  
にひどい目に遭ったのは周辺自

と市議会議長名で、資源エネル  
治体でした。直下型巨大地震の

ギ一庁に既存原発の最大限の活  
震源域の真上にある浜岡原発は

用として早期再稼働を、規制庁  
どんなに津波対策をしても安全

に審査の迅速化を要請したと報  
の担保ができない原発です。動

じられました。  
かさず廃止するしかありません。

沖縄復帰 50 年

日本のたった0.6%の面積の沖縄に7割の  
基地が集中。全体の14.6%が基地で占められ  
る島沖縄。戦争で捨て石とされ、戦後も日本の  
領土なのに返還されず、アジアの戦争におけ  
るアメリカ軍最前線攻撃基地にされ続けた島。  
今また「核共有」だの「敵基地攻撃能力」だ  
の戦争の最前線扱いをされようとしている。

沖縄県民が幾度となくNOの意思表示をし  
ている辺野古新基地建設も強行。沖縄県は平  
和な島沖縄を  
願い「新建議  
書」を提出し  
ました。

沖縄を犠牲  
にした日本の  
平和などあり  
えません。

